

農業法人とグリーンコープが連携して耕作放棄地に飼料用とうもろこし等を植えて有機農業に取り組む

あかむら
〔福岡県赤村〕

新規就農	企業参入	6次産業化	農地中間管理機構
粗放的利用・スマート農業	鳥獣害対策	地域・集落の共同活動	その他

1. 地域農業の状況

○ 赤村は福岡県筑豊地域の東部に位置し、地形は英彦山から扇状に走った山麓に挟まれた細長い盆地で、英彦山を源流とした今川が流れている。土地は肥沃で昔から良質米が生産されており、山間部一帯では、緑と清流が作りだした素晴らしい景観に恵まれている。



○ 赤村全域は過疎地域指定を受けており、山間部に耕作に向かない農地が多くある。近年では高齢化、鳥獣害などが要因で、特に山間部での荒廃農地が増加傾向にある。

○ 県事業を活用してトラクターやコンバインなどの機械導入を行い、作付け面積の増加を図った。またワイヤーメッシュで農地を囲み、獣害被害を減少させた。

活用した支援策	R1、R4水田農業担い手機械導入支援事業（県、村） R4水田農業DX推進事業（県、村）
---------	--

2. 地区概要

取組主体	株式会社 農創会	地区名	あかむら かわさきまち かわらまち そえだまち 赤村、川崎町、香春町、添田町
再生面積	12.5ha	取組年次	平成29年～
作付作物	飼料用とうもろこし、麦、大豆	販路	グリーンコープ等に出荷

3. 取組内容及び効果

耕作放棄地を再生し、飼料用とうもろこし、小麦、大豆を栽培

- このような中、将来にわたって美しい農地を維持し、耕作放棄地を解消するために、村内の農業者が中心となって、（株）農創会を立ち上げ、グリーンコープと連携して耕作放棄地の解消に取り組んでいる。
- 2.5haの耕作放棄地を再生して、合計7.9haに飼料用のとうもろこしの種を播き、飼料の国産化の一助となる取組を行った。
- 約10haの耕作放棄地を再生して、合計約50haに小麦・大豆を栽培して、県産麦・大豆の生産量増加の取り組みを行った。



トラクター



ワイヤーメッシュ